



道総研

多収で加工適性に優れる！ 中生金時 「かちどき」

概要 Abstract

- 早生品種（「大正金時」・「福勝」）よりも多収。
- 「大正金時」よりも7日程度成熟期が遅く、
熟期分散による降雨被害リスクの低減が可能。
- 煮熟後の皮切れや煮くずれが「福勝」よりも少ない。
- 「福勝」同様に、大正金時銘柄での流通が可能。

成果 Results

◆農業特性 (平成25~28年・全道のべ21か所の平均)

品種名	成熟期 (月日)	倒伏 程度 (無-甚)	草丈 (cm)	子実重 比 (%)	百粒重 (g)	屑粒率 (%)		うち 色流れ
						皮切れ	煮くずれ	
かちどき	9/10	少	55	111	78.4	14.8	6.9	
福勝	9/7	中	49	100	78.9	22.8	11.1	
大正金時	9/3	中	47	90	65.6	26.8	13.5	

病害抵抗性

品種名	黄化病	炭そ病(レース)		
		7	38	81
かちどき	やや弱	×	○	○
福勝	弱	×	○	○
大正金時	弱	×	○	○

◆加工適性 (平成25~28年 全道のべ12か所の平均)

品種名	皮切れ粒率 (%)			
	正常	皮切れ		煮く ずれ
		小	大	
かちどき	66	17	14	3
福勝	35	34	19	12
大正金時	72	12	12	4

普及 Dissemination

普及見込み地帯

北海道のいんげんまめ栽培地帯

栽培上の注意

1. 「福勝」と同様に大粒であるので、収穫・乾燥条件に留意し、
損傷粒の発生を防ぐ。
2. インゲンマメ黄化病抵抗性は“やや弱”のため、適切な防除に努める。



福勝 かちどき 大正金時



原粒の外観

かちどき



福勝



連絡先 Contact

十勝農業試験場
 研究部 豆類畑作グループ
 0155-62-2431
 tokachi-agri@hro.or.jp